

平成 26 年 12 月 26 日

全日本弓道連盟加盟団体会員 並びに  
全日本弓道具協会会員 各位

公益財団法人 全日本弓道連盟  
会長 石川 武夫

全日本弓道具協会  
会長 山田 整司



猛禽類の矢羽の問題に関して、全日本弓道連盟では、本年 3 月に調査委員会を設置して調査を行っていましたが、このたび調査委員会から調査結果の報告がありました。

調査委員会の報告によれば、自称「ササキ」とされる人物が、全国各地の弓道家や弓具商に対して、関係法令等に違反する可能性がある猛禽類の羽根を売り歩いていた事実が確認されたとのことです。

この「ササキ」なる人物に関する情報については、北海道の剥製業者・猟師などと名乗ったという点や、年齢、風貌等に共通点が多く、実在する同一の人物と考えられる一方で、店舗を構えずに全国を渡り歩き、連絡先も明かさずに一方的に連絡してくるなど、素性を隠すようにしていたと思われるため、本人を特定できるような情報は乏しいとのことです。

「ササキ」なる人物から羽根を購入した者については、既に公訴時効が成立した可能性が高いと思われる状況ですが、当連盟及び当協会としては、問題再発防止のために、密猟者等の根絶に向けて、協力して司法当局への情報提供や相談を行っていく必要があると考えており、その第一歩が、この自称「ササキ」なる人物に対する対応であると考えております。

つきましては、会員の皆様で、自称「ササキ」なる人物についての情報をお持ちの方は、どのような情報でも、また匿名でも結構ですので、下記の相談窓口まで、書面にて郵送または電子メールによりご連絡下さいますようお願いいたします。

当連盟及び当協会といたしましても、本件の解決及び再発防止に向けて全力で取り組む所存でありますので、会員の皆様も、「ササキ」なる人物に関する情報の収集にご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

全日本弓道連盟相談窓口

郵送 〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内

全日本弓道連盟相談窓口 係

E-mail [soudan@kyudo.jp](mailto:soudan@kyudo.jp)

※情報のご提供は書面にて郵送またはメールをご利用ください。